シャープ公金支出住民訴訟2周年の集い

—堺から橋下「大阪維新改革」の本質を問う！—

日時 2011年7月17日（日）午後2時から

会場 堺市民会館中4階大集会室

「住民みんなのために使われるはずの税金が、なぜ世界的な大企業のために使われるの？」住民の素朴な疑問からスタートした住民訴訟がはじまって2年が経過しました。この間、シャープへ等の莫大な補助金や税減免にとどまらず、大阪府・堺市による数々の行き過ぎた優遇策が明らかになってきています。

「自治体は何のためにあるのか」大震災で改めて地方自治体の役割が見直されています。今回のシャープ訴訟が投げかけている問題を通じて、大阪府・大阪市・堺市を解体、分割して強力な権限を持つ「大阪都」を作ろうとする橋下知事の「大阪維新改革」の本質に迫る今回の学習会に、多数のご参加をお待ちしています。

記念講演 「橋下「大阪維新改革」の本質とシャープ住民訴訟（仮）」

立命館大学教授 森裕之氏

報告

シャープ住民訴訟の経過と争点

シャープ住民訴訟と「大阪都構想」をめぐる住民運動交流 など

主催：シャープ立地への公金支出をただす会 問合せ：072-258-7321